

「なむ」の識別 12ページ 上の段 「強意の助動詞『ぬ』の未然形＋推量・意志の助動詞『む』の終止形」の箇所例文の訂正をします。

✖ 四段動詞「なる」

誤 いづく なり とも まかり なむ

○名詞「どこ」 ○断定の助動詞

正 いづく なり とも まかり なむ

* 「なり」を四段動詞と説明しましたが、「いづく」が名詞で現代語の「どこ」にあたり、「なり」は断定の助動詞で、現代語の「である」にあたります。「とも」は、接続助詞で現代語の「としても」にあたります。したがって、「いづくなりとも」の口語訳は、「どこであったとしても」になります。

(あるとしても)